

研究課題名	AIを用いたCTからの門脈圧亢進症有無の推定に関する検討
研究の意義・目的	肝硬変などの疾患では、腸管から肝臓に流れてくる門脈という血管の圧（門脈圧）は、食道静脈瘤や腹水などの合併症と非常に深くかかわることが知られています。その圧は肝静脈圧較差という圧を調べることでわかります。肝静脈を風船つきカテーテルで閉塞した時と、閉塞していないときの圧較差が10mmHgであれば、血圧が高い（門脈圧亢進症）と言います。しかし、この方法はカテーテルを静脈に入れて肝静脈の圧を計測しなければならず、簡単な他の方法が望まれています。今回の研究では過去に圧測定を行った患者さんのCTを用いて、AI（人工知能）を使用した方法で解析し、圧を仮想的に測定することを目的としています。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可後 ～ 2026年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2007年9月から2025年3月31日に大阪公立大学医学部附属病院で肝静脈圧格差を測定し、3か月以内に造影CTを撮影された方、同期間に肝疾患なく、造影CTを撮影された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	通常診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、性別、検査前の状態、基礎疾患、肝静脈圧格差など診療録、検査データ、画像データの記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院放射線診断科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院放射線診断科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	研究責任者 山本 晃 大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 担当者名：山本 晃 電話番号：(06) 6645-3831 メールアドレス：akira@omu.ac.jp